

衣笠さんで



府民のつどい



多くの母親が切望するのは、子どもの就学前までの子どもの医療費無料化。しかし、現知事はこの願いを冷たく拒否...

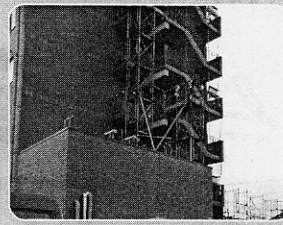


総務省から発表された最新の都道府県別完全失業率では、京都府は0.5ポイント悪化し4.9%で全国最悪の上昇幅になりました。原因は青年の失業者数が増加したとみられています



京都府内の公共施設でもアスベストの使用が確認されるなど、府民の不安は高まっています。建設労働者をはじめ府民を災害から守るため、特殊健診や公的助成などの有効な対策を講ずるべきです

姉歯元建設士が関わっていた府北部の2つのホテル。府は「現地調査を」の声を無視して「(業者の)構造計算書に改ざんはない」と安全宣言。10日後には、「やはり改ざんがあった」と撤回する無責任な対応



春をかちとろう

京都総評は、第64回臨時大会で、「民主市政の会」の衣笠洋子さんを推して、4月に行われる京都府知事選挙をたたかうことを決めました。



06京都府知事選挙

河合事務局長に聞く



「ズバリ、今度の知事選挙の意義は？
耐震偽装、BSE、ライプドアなど、小泉政権がすすめてきた「規制緩和」・格差「社会」に国民が嫌気をさしてきています。今の

知事は、こうした小泉「構造改革」に対して「私も同感」として、保健所や土木事務所などの統廃合や洛東病院の廃止を強行し、伝統的・地場産業の予算を削る一方、大企業の企業誘致には1社あたり最高20億円も助成するといった「勝ち組」応援の府政運営をしていますが、労働者の雇用についても全国の政連率と目視していますが、臨時・非常勤

「勝ち組」応援、「格差」社会の政治に審判をくだすチャンス

派遣などの不安定雇用ばかりで、労働者のくらしは深刻な事態になっています。今度の知事選挙は、こうした「勝ち組」応援、「格差」社会をくりだしている政治に対して、明確な審判をくだす選挙といえます。
いま、京都総評は、知事を相手に裁判をおこなっています。

公正任命を求める「労働組合つぶしを断じて許さず、京都農協労組争議の勝利をめざそう」が提案され、採択されました。

06春闘 賃金・雇用拡大で攻勢的に

総評臨時大会

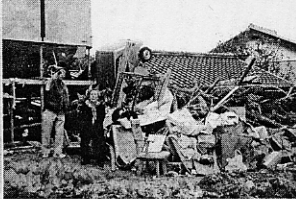


京都総評は一月二八日、臨時大会を開催し、「06春闘で攻勢的に賃金・雇用拡大で攻勢的にたたかおう」と、京都府知事選挙で、「民主市政の会」の衣笠洋子さんを推してたたかうことを決めました。大会では、2つの議案と特別決議「京都府労働委員会労働委員の公正任命を求める」「労働組合つぶしを断じて許さず、京都農協労組争議の勝利をめざそう」が提案され、採択されました。

大会代議員の発言の主な内容は以下のとおりです。
「小泉「構造改革」のもとで「勝ち組・負け組」が教育の世界まで持ち込まれている(京大組)耐震偽装などが横行する歪んだ建設業界に構造的な問題がある(京建労「舞鶴市民病院の機能縮小・民営化反対の取り組み」(医労連「ルールなき規制緩和のもとでタクシ業界の深刻な実態(自公総連)「青年の深刻な雇用問題を真正面にとりあげて奮闘す(青)年部」総人員削減攻撃の本質をひらく訴えて闘志(京)都閣会公)最低賃金調の試算をもとにした要求書確立運動の提起を(建交労「総務省直結・小泉流「規制緩和」・冷たい官僚府政のもとでの取り組み(自治労連)

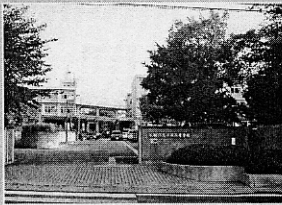
衣笠

現知事が「安全、より、効率」を最優先した土木事務所や保健所などの再編・統合。台風23号の時は、40人体制だった舞鶴土木事務所を6名に縮小。結果、水害への対応が遅れた



京都のリハビリ医療の先駆け府立洛東病院を、現知事はわずか半年あまりの議論で廃止しました

現知事は「経営の観点から…再整理が迫られている」と宇治・八幡にある高校をはじめとする府立高校の統廃合をすすめています



京都府労働委員会の5人の労働者委員任命について、京都府は連合京都が発足して以来、18年間に及び「連合独占、総評排除」という偏向した任命を続けています



怒りと要求をバネ

いのち輝く、京都府政の実現を!

京都医労連執行委員長 森田しのぶ



小泉内閣は、国の責任を大幅に後退させる医療制度の抜本改悪を進めようとしています。改悪が進むと、更なる患者負担増・受診抑制に繋がります。府北部の医師・看護師不足! 医療・福祉・教育の分野は、地域によって格差があってはなりません。

平和で、人間らしい尊厳ある、生き方・働き方・暮らし方…いのち輝く京都を衣笠知事で実現しましょう!



地方自治の擁護と発展を

京都自治労連執行委員長 山村 隆

この4年間、「自治体リストラ」「市町村合併」をめぐって府と市町村は大きく揺れ動いた。政府は、構造改革と称して「住民の生活をまもる施策の後退」「住民の意向を尊重しない市町村合併」を押しつけてきている。これに対し、他県と比べても今の知事の姿勢が国言いがりで、地方自治の本旨を無視していることが目立っている。格差社会と言われる現在、あらためて地方自治の擁護と発展を望む。



地域と中小企業の振興条例実現を

全国一般執行委員長 谷 俊男

私たちは、全国一律最賃制確立と中小企業・地域経済の振興を運動の柱におき、合同組織労組と共同して伝統産業振興条例づくりに結び付けました。しかし、予算は削減されました。予算の拡充や実効ある対策、さらに地域と中小企業の振興条例実現を要求します。



住宅改修制度の創設を

京建労執行委員長 田辺 正男

先日の2・23府民総行動で、京都府との交渉に参加しました。

この交渉で京建労は、住宅改修助成制度の創設をはじめ、耐震改修やアスベスト除去に関する、京都府民の住宅要求を申し入れました。

とくに住宅改修助成制度の要求は私たちが7年間にわたって要求をしつづけたにもかかわらず、京都府の見解は「住宅改修助成制度は経済対策であって、住宅政策として検討していない」との、驚くべき内容でした。

このような今の京都府政では、住まいの安心・安全は実現しません。こんどの知事選挙では「住宅改修助成制度を新しい府政の第一の課題」として公約されている衣笠洋子さんを押し上げて、府内すべての建設労働者が府民の住環境を守る役割を果たしていこうと、仲間によびかけています。

不当な労組攻撃を行なう農協経営者に毅然と指導できる府政へ

京都府農協労連・中央執行委員長 西山 良男



農業を支えてきた中小零細農家を農業から追い出し、一方で農協解体もねらう小泉農政。これでは地域経済も、食の安全もこわされてしまいます。

「西の農水省」と言われた蛸川民主農政を継承・発展させる衣笠知事の誕生へ。不当な労組攻撃を行なう農協経営者に毅然と指導できる府政へ。要求を土台に、農協労働者全員で運動を進めます。

京都府知事選挙にあたっての10項目の重点要求

京都府労働組合総評議会

- 1 国の悪政の防波堤の役割を果たす**
労働者のいのちと暮らし、賃金や労働条件を守り向上させるため、小泉「構造改革」に真正面から立ち向かう府政を実現すること。労働者の賃下げや解雇を自由に行える労働契約法制の制定に反対すること。サラリーマン増税と消費税の増税に反対すること。BSE、アスベスト、耐震偽造、産業廃棄物処理、子どもの安全、防災対策など府民の生活と「安心・安全」を守る府政を実現すること。
- 2 地域経済を再生する**
地域経済の振興・発展のため、ムダな公共事業をやめること。体力のある大企業応援の府政運営でなく、中小・地場産業を応援する施策を充実すること。住宅改修助成制度を創設するとともに、耐震改修助成制度を改善・拡充すること。
- 3 雇用対策を積極的に講ずる**
地域での雇用安定のため、正規雇用労働者の採用を積極的に奨励するとともに、非正規労働者の賃金・労働条件の改善、均等待遇の実現を推進し、格差社会の是正のための施策を講ずること。また、公的就労事業を起し、長期失業者の就労確保と生活安定に寄与すること。
- 4 労働者の最低保障制度を実現する**
ダンピングを防止し、労働者の賃金・労働条件を確保するため、公契約条例を制定し、公的契約のもとで働く労働者の賃金については、その地域の同職種の労働者の賃金の社会的水準を確保すること。また、公契約のもとで働く労働者の賃金の最低水準は、最低賃金を上回ることを。
- 5 医療・福祉を充実する**
府民のいのちを守り、医療・福祉を充実させるため、医療保険制度の大改悪に反対すること。国民健康保険や介護保険の引き下げのための援助・補助を行うとともに、自立支援医療制度に関する軽減措置などの援助を行うこと。府内の医師・看護師不足を解消すること。医療・福祉・保育の施設整備を、そこで働く職員の労働条件の改善がかられるような必要施策を講じること。医療・福祉をはじめとする住民サービスに「経済的視点」や「採算性・効率性」を持ち込まないこと。
- 6 教育施策を充実する**
選別と競争の学校づくりや高校統廃合をやめ、憲法と教育基本法を生かし、30人学級の実現、京都府南部の養護学校新設の早期実現と教育条件を整備すること。また、「安心・安全」の学校づくりを子どもと保護者、教職員、地域が一体としてすすめることができる施策を実現すること。
- 7 農林漁業の充実を図る**
独自の価格保障を行うなど、京都の農林漁業と食糧を守る施策を充実すること。BSE対策について、府内産牛の全頭検査を維持して府民の食生活の安全を守ること。農家から信頼される農協を取り戻すため、京都農協の中川泰会長による不当労働行為にたちどころに指導を行うこと。
- 8 偏向した労働行政を改める**
京都府労働委員会の労働者委員について、「連合京都独占・京都総評排除」という不法・不当な任命を改め、公正な選任を行うこと。また、連合京都に対しては「癒着」ともいえる手取り対応を一方で、京都総評は軽視する偏向した労働行政を改めること。
- 9 戦争する国づくりに協力しない**
戦争への道を誘導する「国民保護計画」の策定でなく、憲法で定める平和主義にもとづいて府政運営を行うこと。
- 10 憲法・教育基本法の改悪に反対する**
憲法・教育基本法の改悪に反対し、憲法9条を世界に発信するとともに、憲法の原則が生かされる府政を実現すること。



憲法・教育基本法改悪反対! 30人学級の実現を

京教組執行委員長 藤本 雅英

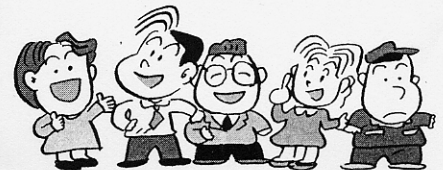
「府知事選の対決構図と歴史的・全国的意義が浮き彫りになっています。憲法・教育基本法改悪、「構造改革」に待ったをかけるたたかいです。同時に、30人学級の実現をはじめ子どもと教育、教職員のいのち・暮らしを守る切実な願いを実現する展望を大きく切り開く絶好のチャンスです。勝利にむけて全力をあげます。」



福祉施設の中だけではどうしても弱い弱者の立場に立った政治を

福祉保育労京都府本部執行委員長 前田 鉄雄

「ホンマに政治が変わらんことには、どうしようもない! というのが実感です。高齢者、障害者、子どもたちの暮らしの安心・安全を守るためには、福祉施設の中だけではどうしようもなく、まさに政治を変えること抜きには絶対にうまくならないことは明らかです。衣笠洋子知事を誕生させて働くもの本位、弱いもの立場に立った政治・経済に流れを変えましょう!」



「いい学校にしたい」と 生徒に励まされ闘った40年間



畠山智恵子さん

03年3月、京都私教連・京私教協総合高校分会の畠山智恵子さん（当時）に対して、同高校の理事会は就業規則を改悪し、ささやかな記録簿を口実に懲戒処分を行って退職金をカットしました。しかし、畠山さんは京都地裁と京都労働委員会にそれぞれ提訴、申し立てをおこない、06年1月、ついに大阪高裁で勝利的和解を取りました。

Q 勝利的な解決、おめでとうございます。今回の闘いの経緯を教えてください。

A 私（畠山さん）の闘いは、40年前の生徒の一言から始まりました。ある日、生徒は学校に誇りが持てない状態でした。また、それは働いた私にも同じ30人

畠山さん 私の闘いは、40年前の生徒の一言から始まりました。ある日、生徒は学校に誇りが持てない状態でした。また、それは働いた私にも同じ30人

が就職しても、その年度が終わる頃には3分の1の教師しか残らないといった状態でした。そこで、そういった生徒達に励まされて、初めて組合を作り、定年退職するまで組合活動を続け、生徒会・保護者会を学校に認めさせるなど、教職員との交渉・生徒の教育条件の向上に頑張ってきました。

求めるという極めて労働問題の色彩が濃かったのですが、単なる「労働問題」ではなく、「教育に関する問題」として運動の理念を確立した事が共感を得られ、確信と愛を持っていったとおもいます。

京労委・労働者委員 任命処分取消等裁判 京都府労働部長、岩橋議長が証言

2月3日、京都府加瀬労働部長と京都総評岩橋議長が証言をしました。裁判は、4時間にわたって開か

れ、80人以上が傍聴を申しました。加瀬労働部長は、「労働者一般に利益をもたらすという考え方を一歩も進めずとも総合的な判断をすという観点で選任を行なったもので、個々の具体的候補者の指標で決定的なもの



「労働者委員の報酬を脱税に使っていた人（労働者委員として適格性があるか）という問いに、特段これだけ分かれた。これが決定的になったというものはありません」とも答えていました。京都総評排除は18年間にもわたっており、「総合的判断」という名の差別意識が一層鮮明になったといえます。次回は、3月17日午後2時から最終弁論の予定です。

はないと証言しました。あくまでも「総合的に判断した」ということではなく組織的だったとの趣旨が書いてあることに関して、「この問題で責任をとって委員が辞任した時の補充選考でこの組織について、選任については、税関の不正選任を受けていた事件に関して、」と答えていました。

格差社会 への挑戦



格差社会への挑戦
最低生計費試算を公表

最低生計費の試算は、全国でも地方組織が行なうのははじめてです。各地方から注目されるのは、「格差社会」といっても、非正規雇用が34%を占め低収入の労働者が急増しています。最近発表される「格差社会」といっても、非正規雇用が34%を占め低収入の労働者が急増しています。最近発表される「格差社会」といっても、非正規雇用が34%を占め低収入の労働者が急増しています。

若年単身世帯	月額(税込)	158,053円
モデルの最低生計費	月額(税込)	185,426円
●男性20代	年額(税込)	2,225,112円
●京都市内在住		



「働く女性の京都集会」

働く女性の声あふれる 「府政を変えたい」の思いも一杯に

働く女性の京都集会

2月26日、京都市中京区の和生登録会館で、第46回「働く女性の京都集会」が、80人以上が傍聴を申しました。加瀬労働部長は、「労働者一般に利益をもたらすという考え方を一歩も進めずとも総合的な判断をすという観点で選任を行なったもので、個々の具体的候補者の指標で決定的なもの

開催され、約150人が参加。元氣と感動のあふれる集会となりました。集合には衣笠洋子さんも来ていただき、「いつもこの集会では母連のコピーを売っていました。いっしょにあったかい府政をつくりましょう」とのあいさつに、会場いっぱい共感と期待が溢れました。

「戦争しないことを決めた憲法」の大切さを実感しました。交流では、未払い残業手当を交流して、今年も青年一揆でがんばる。総評青年部からは、今年も青年一揆のイメージのものは、はたらく女性の集会だったというらしい話。パート・非常勤ネット立ち上げの報告もあり、この発言も府政を変えたい願いにあふれた交流になりました。

した民間委託のつき。京商連の女性では出で町の商店が「ババ」進出で困った。つづい大変なところ。総評青年部からは、今年も青年一揆でがんばる。総評青年部からは、今年も青年一揆のイメージのものは、はたらく女性の集会だったというらしい話。パート・非常勤ネット立ち上げの報告もあり、この発言も府政を変えたい願いにあふれた交流になりました。

3・19

ピースアクション in 京都

PEACE ACTION in KYOTO

- とき 3月19日(日)午後2時より
午後3時15分ごろ デモ出発(円山公園まで)
- ところ 鴨川三条河川敷(三条大橋北側)

3・19 PEACE ACTION

March 19
Sanjo-Kamogawa river side
* Gathering/2pm
* Peace Walk/3:15pm Start